

平成 30 年度

事業報告書



Nara Visitors Bureau

一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

目 次

事業報告

I インバウンド向け旅行商品の販売…………… 1

1. オーダーメイドサイトによる旅行商品販売
 - (1) 奈良を中心とした関西広域周遊ルート造成・サイト掲載
 - (2) コンシェルジュによるオーダーメイド販売
 - (3) 海外商談会での販売促進
2. 予約サイトによる旅行商品・体験プログラムの販売
 - (1) 旅行者が直接かつ容易に予約できる予約サイトの構築
 - (2) オーダーメイドツアーとの相互補完

II 地域連携DMO推進事業…………… 4

1. デジタルマーケティングの実施
 - (1) サイト運営を通じたマーケティングと地域との共有
 - (2) 事業効果の検証可能な PDCA サイクルの確立
 - (3) パラダイムシフトへの対応
2. 着地型観光素材の発掘・商品造成・サイト掲載
 - (1) 社寺・地域観光資源を活用した体験プログラム造成
 - (2) 「KANSAI NARA Treasure Travel」・「奈良体験.com」へのサイト掲載
3. 地域関係者との連携プラットフォームづくり
 - (1) 観光人材の育成
 - (2) MICE 人材の育成
 - (3) 旅行商品づくりセミナーの開催
 - (4) 旅行商品づくり及び受入環境整備に関する情報提供
4. 観光庁「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」
 - (1) 関西周遊コースモニタリング調査
 - (2) DMO ネットワーク構築に向けた観光セミナーの開催
 - (3) オーダーメイドサイト・予約サイトの WEB 広告運用及び SEO 対策
 - (4) コンシェルジュの育成
 - (5) FAM TRIP の実施
 - (6) 関西広域マップ及び紹介冊子の制作
 - (7) 体験プログラム品質向上セミナーの開催
 - (8) 観光ガイドマップ表示システムの構築
5. 文化庁「文化財多言語解説整備事業」

Ⅲ 連携事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1. 主要交通事業者と連携した国内外向け旅行商品の販売
 - (1) 「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営
 - (2) JR 東海キャンペーンと連動した販売促進
 - (3) 奈良県観光キャンペーンと連動した着地型旅行商品の造成
 - (4) 関西圏・九州圏の交通事業者と連携した販売促進
2. 奈良ファン誘客事業
 - (1) 奈良ファン倶楽部
 - (2) 奈良大和路カレンダー
3. 「あをによしなら旅ネット」の運営
4. 観光インフォメーションセンターの運営
5. 猿沢イン旅行カウンター
6. 観光事業功労者表彰
7. 東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー
8. オフ期のスポーツイベントを活用した宿泊誘致
9. アンテナショップの運営
10. 支部活動

Ⅳ コンベンション誘致及び支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

1. 誘致支援実績
2. 先行受注状況
3. 誘致活動
 - (1) 県内大学への誘致活動
 - (2) 県外大学への誘致活動
 - (3) 国際コンベンションへの誘致活動
 - (4) 大学以外への誘致活動
 - (5) MICE 誘致への取り組み
4. 企画提案力及び情報収集・発進力の強化
5. 開催支援活動
6. 開催支援内容の充実
7. 人材育成

財務諸表（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）・・・・・・ 17

監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

役員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

I インバウンド向け旅行商品の販売

1. オーダーメイドサイトによる旅行商品販売

オーダーメイドサイト名：「KANSAI NARA Treasure Travel」

◆平成 30 年度目標 販売額：3,225 万円

(1) 奈良を中心とした関西等広域周遊ルート造成・サイト掲載

奈良県への誘客を促進し広域周遊に結び付けるため、奈良県内の各地域における訪日外国人向けの体験プログラム及び関西圏の観光プランを 1 週間前後の滞在に適したモデルコースとして造成、サイトへの掲載・販売を行いました。

【掲載実績】

- ・近隣府県を含む 5 日間～8 日間のモデルコース：7 コース
- ・奈良県内 3 泊 4 日までのショートトリップモデルコース：6 コース

(2) コンシェルジュによるオーダーメイド販売

顧客と密なコミュニケーションができる「コンシェルジュ」を配置し、顧客ごとのニーズに合わせてアレンジしたオーダーメイド型の旅行を提案・販売しました。

【取扱実績】

3 名のコンシェルジュを配置し、オーダーメイドサイトより流入する外国人顧客の旅行ニーズに関する相談に対応し、オーダーメイド型旅行の提案・販売を行いました。

- ・対応件数：350 件（アジア 214 件、ヨーロッパ 37 件、その他 99 件）
- ・販売実績：1,502 万円

【コンシェルジュの育成】

海外富裕層向けのオーダーメイド型旅行において質の高いサービスを提供するための専門知識や接遇を身につけることを目的に、人材育成研修を実施しました。OJT 形式の研修も行い、顧客対応のノウハウを学びました。（Ⅱ-4（4）に再掲）

(3) 海外商談会での販売促進

海外における旅行会社やメディアとの商談会に参加、奈良の観光コンテンツの購入促進並びにメディアでの PR の働きかけを行いました。

【商談実績】

① World Travel Mart London（11/5～11/7）に参加

世界 182 カ国、出展者数 4,500 名を超える観光分野では世界最大級の商談会に参加し、各国のラグジュアリー層を顧客に持つ旅行会社、メディアとの商談を実施しました。

結果、メディアでの評価が高いロンドン在住のブロガーを 3 月に招請し、ソーシャルメディアを通じて奈良の観光コンテンツを世界的に発信しました。

・商談数：20 社（旅行会社 14 社 メディア・プロモーション関連会社 6 社）

② International Luxury Travel Market Cannes（12/2～12/8）に参加

富裕層を顧客に持つ旅行会社・メディアとの商談会において、世界最大級かつ最も権威ある商談会に参加し、主に旅行会社を中心として奈良の魅力ある観光コンテンツの購入促進を働きかけました。また、令和元年度にも予定している FAM TRIP への参加や、奈良の観光コンテンツを組み込んだ旅行商品の造成に強く興味を示す旅行会社が多数あり、今後の具体的な取引に向けて継続的な働きかけを行っているところです。

・商談数：40 社（旅行会社 40 社）

【FAM TRIP の実施】

World Travel Mart London での商談及びシドニーでのセールスコールにおいて関係を築いた海外事業者等を招いた FAM TRIP を実施しました。また、コンシェルジュの顧客対応研修を兼ねた FAM TRIP も実施しました。（Ⅱ-4（4）、（5）に再掲）

・FAM TRIP 実施回数 8 回

・FAM TRIP 参加者数 14 名

【関西広域マップ及び紹介冊子の制作】

海外商談会の場で、奈良県及び関西広域エリアを効果的に PR し、広域周遊観光を促進するために、関西広域マップ及び紹介冊子を英語で制作しました。（Ⅱ-4（6）に再掲）

2. 予約サイトによる旅行商品・体験プログラムの販売

予約サイト名：「Nara Experience.com」（「奈良体験.com」）

◆平成 30 年度目標 年間ページビュー：100 万 PV

・販売実績：1,228 万円

（1）旅行者が直接かつ容易に予約できる予約サイトの構築

旅行者が、奈良の旅行商品・体験プログラムを、直接かつ容易に予約できる予約サイトの構築に努めました。サイトにて取り扱う旅行商品・体験プログラムは、県内の事業者が実施する、下記のテーマに重点をおいて展開しました。

・奈良らしい魅力・特色のあるもの（社寺・歴史・文化）

・これまでアピールされることが少なかった奈良の新しい魅力を発信するもの（アウトドアスポーツ、産業）

・奈良独自ではなくとも、着物・寿司・お茶・酒など一般的な日本体験として、訪日外国人の需要が認められるもの。

【ページビュー実績】

・奈良体験.com（日本語）・・・ページビュー：326,509 PV

・Nara Experience.com（英語）・・・ページビュー：84,165 PV

【オーダーメイドサイト・予約サイトの WEB 広告運用及び SEO 対策】

オーダーメイドサイト及び予約サイトの利用を促進し、奈良県への誘客を図ることを目的に、WEB

広告の運用及び SEO 対策を行いました。（Ⅱ-4（3）に再掲）

（2）オーダーメイドツアーとの相互補完

オーダーメイドツアーと予約サイトは、個別独立したサイトではなく、下記のような相互に補完する関係を持たせました。

- ・オーダーメイドツアーに、特色ある体験プログラムを提供しました。
- ・オーダーメイドツアーが成約しない場合においても、旅行商品・体験プログラムを販売することにより、奈良への訪問・滞在・消費の確保に努めました。

【ページビュー実績】

- ・オーダーメイドサイト（英語）・・・ページビュー：190,310 PV

【オーダーメイドサイト・予約サイトの WEB 広告運用及び SEO 対策】

オーダーメイドサイト及び予約サイトの利用を促進し、奈良県への誘客を図ることを目的に、WEB 広告の運用及び SEO 対策を行いました。（Ⅱ-4（3）に再掲）

Ⅱ 地域連携DMO推進事業

1. デジタルマーケティングの実施

(1) サイト運営を通じたマーケティングと地域との共有

サイトそのものをマーケティングツールとして活用し、ページビュー数、ユーザー数、セッション数などのデータを、Google Analytics を用いて収集し、売れる商品・売れない商品の分析を行い、分析結果を地域の関係者と共有するとともに、商品造成にフィードバックし、売れる旅行商品・体験プログラムの造成に繋がりました。

【体験プログラム品質向上セミナーの開催】

予約サイトの分析結果を地域事業者と共有し、体験プログラムの造成に繋がりました。（Ⅱ-4（7）に再掲）

・セミナー延べ参加者数 61 名

(2) 事業効果の検証可能な PDCA サイクルの確立

新たに運用するサイトは、旅行者に直接旅行商品・体験プログラムの販売を行うものであり、サイトのアクセスアップなどに投下した費用は、予約金額といった結果として現れます。このような費用対効果を検証するための PDCA サイクルを確立し、地域の関係者とともに取り組みを展開しているところです。

【オーダーメイドサイト・予約サイトの WEB 広告運用及び SEO 対策】

オーダーメイドサイト及び予約サイトの利用を促進し、奈良県への誘客を図ることを目的に、WEB 広告の運用及び SEO 対策を行いました。（Ⅱ-4（3）に再掲）

(3) パラダイムシフトへの対応

上記のような取り組みを通じ、地域の関係者とともに、売れるインバウンド商品の造成・販売を行うことによって、インバウンド市場の更なる拡大、国内市場の縮小などが予想される旅行・観光産業のパラダイムシフトへの対応に努めました。

【DMO ネットワーク構築に向けた観光セミナーの開催】

各市町村・DMO・地域事業者等とネットワークを構築し、広域において一体的な受入環境整備を推進するために、観光セミナーを開催しました。

・セミナー参加者数 39 名 （Ⅱ-4（2）に再掲）

2. 着地型観光素材の発掘・商品造成・サイト掲載

(1) 社寺・地域観光資源を活用した体験プログラム造成

奈良県の歴史・文化を育んできた社寺、及び県内各地域の魅力ある観光素材の情報を収集・

発掘し、それぞれの特性を最大限に活用した奈良県でしか実現できない体験プログラムを造成し、国内外からの更なる誘客促進に努めました。

【体験プログラム造成数（※調整中プログラムを含む）】

・日本語プログラム：167 件、 英語プログラム：94 件

（２）「KANSAI NARA Treasure Travel」・「奈良体験.com」へのサイト掲載

奈良県の魅力を最大限に活かして造成した体験プログラムは、当ビューローが構築する旅行商品販売サイトで掲載・販売することにより、奈良県への訪問・滞在・消費の更なる拡大に努めました。

【サイト掲載プログラム数】

・日本語プログラム：94 件、 英語プログラム：59 件

3. 地域関係者との連携プラットフォームづくり

（１）観光人材の育成

地域の歴史や魅力を語り継ぐことが出来るガイド（語り部）、外国語を駆使して地域の魅力を伝えるガイド（通訳）、伝統工芸の継承者等、地域観光の核となる人材を発掘・育成することにより、奈良県の更なる“おもてなし”の向上、並びに魅力の発信に繋がりました。

【DMO ネットワーク構築に向けた観光セミナーの開催】

各市町村・DMO・地域事業者等とネットワークを構築し、広域において一体的な受入環境整備を推進するために、観光セミナーを開催しました。

・セミナー参加者数 39 名 （Ⅱ-4（２）に再掲）

（２）MICE 人材の育成

国際会議をはじめとする MICE 誘致ができる新たな人材の育成を、OJT により取り組みました。

また、JCCB（一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー）や JNTO（独立行政法人国際観光振興機構（通称：日本政府観光局））等が開催するセミナーへの積極的な参加及び意見交換等を行いました。

【MICE 人材育成】

・OJT を通じて国際コンベンション誘致に向けた人材育成を行いました。

・JCCB（日本コンgres・コンベンション・ビューロー）及び JNTO（日本政府観光局）等が開催するセミナーに職員の派遣を実施しました。

・主なコンベンション施設の視察を実施しました。（Ⅳ-7に再掲）

（３）旅行商品づくりセミナーの開催

県内の自治体並びに観光関連事業者等を対象とした旅行商品づくりセミナーを開催し、旅行商品造成に関するノウハウや販促 PR の手法等を学ぶ機会を作ることにより、観光に携わる人材のスキルアップを図りました。

【体験プログラム品質向上セミナーの開催】

予約サイトの分析結果を地域事業者と共有し、体験プログラムの造成に繋がりました。（Ⅱ-4（7）に再掲）

・セミナー延べ参加者数 61 名

（4）旅行商品づくり及び受入環境整備に関する情報提供

旅行商品造成に係る助言や提案、及び受入環境の改善・整備に係る情報提供を行うことにより、各地域の受入体制の強化を図り更なる誘客促進に繋がりました。

【関西周遊コースモニタリング調査】

外国人観光客のニーズ把握及び新たな観光資源発掘を目的に、旅中の外国人観光客をモニターとした FAM TRIP 形式でのモニタリング調査を実施しました。令和元年度も引き続きモニタリング調査を行うとともに、十津川村等外国人観光客から好評を得た地域を中心に受入環境整備を実施します。

・モニターツアー実施件数 15 件 （Ⅱ-4（1）に再掲）

【観光ガイドマップ表示システムの構築】

訪日外国人観光客に対する受入環境整備の一環として、Facebook Messenger を通じて対話形式で観光ルート案内ができるシステムを構築しました。また、訪日外国人観光客のシステム利用により取得したデータを地域の事業者へ提供し、自発的な受入環境整備を促しました。

（Ⅱ-4（8）に再掲）

4. 観光庁「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」

訪日外国人旅行者の広域周遊観光を促進するために、下記の取組をはじめ地域事業者と連携して総合的な受入環境整備を実施しました。

（1） 関西周遊コースモニタリング調査

外国人観光客のニーズ把握及び新たな観光資源発掘を目的に、旅中の外国人観光客をモニターとした FAM TRIP 形式でのモニタリング調査を実施しました。令和元年度も引き続きモニタリング調査を行うとともに、十津川村等外国人観光客から好評を得た地域を中心に受入環境整備を実施します。

（Ⅱ-3（4）旅行商品づくり及び受入環境整備に関する情報提供に補助金充当）

（2） DMO ネットワーク構築に向けた観光セミナーの開催

各市町村・DMO・地域事業者等とネットワークを構築し、広域において一体的な受入環境整備を推進するために、観光セミナーを開催しました。

（Ⅱ-1（3）パラダイムシフトへの対応、Ⅱ-3（1）観光人材の育成に補助金充当）

(3) オーダーメイドサイト・予約サイトの WEB 広告運用及び SEO 対策

オーダーメイドサイト及び予約サイトの利用を促進し、奈良県への誘客を図ることを目的に、WEB 広告の運用及び SEO 対策を行いました。

(I-2 (1) 予約サイトの構築、(2) オーダーメイドツアーとの相互補完、II-1 (2) PDCA サイクルの確立に補助金充当)

(1) コンシェルジュの育成

海外富裕層向けのオーダーメイド型旅行において質の高いサービスを提供するための専門知識や接遇を身につけることを目的に、人材育成研修を実施しました。OJT 形式の研修も行い、顧客対応のノウハウを学びました。

(I-1 (2) コンシェルジュによるオーダーメイド販売に補助金充当)

(5) FAM TRIP の実施

World Travel Mart London での商談で関係を築いた海外事業者等を招いた FAM TRIP を実施しました。

(I-1 (3) 海外商談会に補助金充当)

(6) 関西広域マップ及び紹介冊子の制作

海外商談会の場で、奈良県及び関西広域エリアを効果的に PR し、広域周遊観光を促進するために、関西広域マップ及び紹介冊子を英語で制作しました。

(I-1 (3) 海外商談会に補助金充当)

(7) 体験プログラム品質向上セミナーの開催

予約サイトの分析結果を地域事業者と共有し、体験プログラムの造成に繋げました。

(II-1 (1) サイト運営を通じたマーケティングと地域との共有、II-3 (3) 旅行商品づくりセミナーの開催に補助金充当)

(8) 観光ガイドマップ表示システムの構築

訪日外国人観光客に対する受入環境整備の一環として、Facebook Messenger を通じて対話形式で観光ルート案内ができるシステムを構築しました。また、訪日外国人観光客のシステム利用により取得したデータを地域の事業者へ提供し、自発的な受入環境整備を促しました。

(II-3 (4) 旅行商品づくり及び受入環境整備に関する情報提供に補助金充当)

5. 文化庁「文化財多言語解説整備事業」

訪日外国人旅行者の地域での滞在満足度を向上させるために、春日大社・旧大乘院庭園において多言語解説アプリ、長谷寺・室生寺・岡寺・安倍文殊院の大和四寺において多言語紹介映像及びガイドブックを制作しました。令和元年度も引き続き本補助金を活用し、県内の社寺において多言語解説整備を行うことで、訪日外国人旅行者の更なる誘客促進に努めます。

Ⅲ 連携事業

1. 主要交通事業者と連携した国内外向け旅行商品の販売

(1) 「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営

奈良県でのオフ期の宿泊滞在を促進するため、夏季(うまし夏めぐり)と冬季(うまし冬めぐり)の2季に観光キャンペーンを展開しました。当ビューローは「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局を運営し、商品の企画・販売・オペレーション・精算業務を行い、販売代金の10%を手数料として徴収しました。

◆平成30年度販売目標：8,600名〔※平成29年度実績：6,228名〕

①奈良うまし夏めぐり

取扱実績：1,141名〔目標2,600名 平成29年度実績2,227名〕

設定期間：平成30年6月～9月

企画数：26企画

取扱旅行会社：パーソナル（個人型商品）9社（※うちWeb系4社）

エスコート（添乗員付き商品）14社、直販（Web・電話）369名

②奈良うまし冬めぐり

取扱実績：3,067名〔目標6,000名 平成29年度実績4,001名〕

設定期間：平成30年12月～平成31年3月

企画数：32企画

取扱旅行会社：パーソナル（個人型商品）10社（※うちWeb系4社）

エスコート（添乗員付き商品）16社、直販（Web・電話）1,047名

(首都圏プロモーション)

開催日：平成30年4月22日(月)

場 所：品川インターシティ 会議室

概 要：奈良うまし冬めぐり企画説明会を実施

(九州プロモーション)

開催日：平成30年4月26日(金)

場 所：J R博多シティ会議室

概 要：奈良うまし冬めぐり企画説明会を実施

③令和元年度 奈良うまし夏めぐりに向けた取り組み

設定期間：令和元年6月～9月

企画数：37企画

改善事項：ターゲットをイメージした商品分類と体験型や食事付きプログラムの充実

プロモーションの状況：県が実施するプロモーションと連携し、今後も営業活動を継続します。

(首都圏プロモーション)

開催日：平成 30 年 10 月 17 日(水)

場 所：品川インターシティ 会議室

概 要：奈良うまし夏めぐり企画説明会を実施

(九州プロモーション)

開催日：平成 30 年 10 月 29 日(月)

場 所：J R 博多シティ会議室

概 要：奈良うまし夏めぐり企画説明会を実施

④春日大社「御創建 1250 年記念参拝旅行企画」

「春日大社 御創建 1250 年記念参拝旅行企画」の旅行会社への販売促進や手配・精算業務を請け負い、販売代金の 5%を手数料として徴収しました。

設定期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

取扱実績：6,405 名 [平成 29 年度実績 7,027 名]

(2) J R 東海キャンペーンと連動した販売促進

首都圏を中心として非常に PR 効果の高い JR 東海の「うましうわし奈良」キャンペーンと連動し、関連する県内主要社寺での旅行商品を造成・販売することにより、更なる誘客促進に努めました。また、関連する県内主要社寺を中心に、奈良の持つ魅力ある歴史・文化などのストーリーをしっかりと発信する観光ガイドブックを発行しました。

(観光ガイドブック)

媒 体 名：なら温故知新

発行部数：15 万部

配 置 先：首都圏・関西圏を中心に約 700 箇所

(3) 奈良県観光キャンペーンと連動した着地型旅行商品の造成

奈良県観光局を主体として実施する「奈良県観光キャンペーン」と連動し、中金堂落慶を迎える興福寺をはじめとした県内主要社寺及び各地域の魅力ある観光資源の販促 PR 等を展開するとともに、同キャンペーンによるマーケティング調査・分析結果を活用し、より販売効果の高い商品造成に努めました。

(4) 関西圏・九州圏の交通事業者と連携した販売促進

① J R 西日本キャンペーンとの連携事業

西日本圏内の基幹交通を担う JR 西日本が実施するキャンペーンと連携し、おおさか東線の全線開業による公共交通整備を効果的に活用し、顧客のニーズに合致した旅行商品の造成・販売、および西日本広域での販促 PR 等を展開することにより、更なる誘客促進に努めました。

②関西圏交通事業者との連携事業

関西圏と奈良県内を繋ぐ交通事業者(近鉄・奈良交通)と連携し、各利用者のマーケティング分析を踏まえた円滑な移動手段を伴う着地型旅行商品の造成を行うことにより、観光客の周遊性を高め更なる誘客促進に繋げるよう努めました。

2. 奈良ファン誘客事業

(1) 奈良ファン倶楽部

奈良ファンのリピーター化を推進するため、テーマ性・ストーリー性のある旅行商品の企画を行い、関係団体と連携しながら、誘客促進と奈良ファンの増大に取り組みました。

- ◆平成 30 年度会員数：1,726 名(うち新規 377 名)
- ◆解説付き特別拝観：13 回（参加者数：422 名）
- ◆興福寺中金堂再建記念「奈良楽講座」：4 回（参加者数：616 名）
- ◆解説付き歴史ウォーク：4 回（参加者数：55 名）

(2) 奈良大和路カレンダー

仏像シリーズ 23 作目となる「奈良大和路カレンダー2019 大和のみほとけ『まなざし』」を作成し、通信販売および県内・近畿圏・首都圏などでの店頭販売を行い、観光 PR にも活用しました。

3. 「あをによしなら旅ネット」の運営

奈良県観光公式サイト「あをによしなら旅ネット」を管理運営し、県内の社寺・市町村・宿泊事業者・交通事業者等から収集した観光情報を発信しました。

- ◆年間ページビュー：10,598,097 PV

4. 観光インフォメーションセンターの運営

「夢風ひろば」に加え、9 月から「東大寺」内の奈良県観光インフォメーションセンターの管理運営を開始し、各観光施設等と連携を図りながら、訪日外国人旅行者に対する情報発信の強化並びに利便性の向上を図りました。

5. 猿沢イン旅行カウンター

奈良県猿沢イン旅行カウンターにおける旅行手配業務を管理運営し、訪日外国人旅行者に対して、旅行商品や体験プログラムの提案及び販売を行いました。

6. 観光事業功労者表彰

観光地域経営の観点から、自身の事業への努力だけでなく、地域の経済発展への貢献度も評価して個人及び団体を表彰することにより、受賞自体が真に他の手本となり励みとなるように制度を見直しました。

7. 東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー

奈良を代表する伝統行事の歴史・意義・行法を正しく伝えるセミナーを開催し、旅行会社及び地元宿泊施設の宿泊プラン等により販売しました。また、当ビューローが「東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー実行委員会」の事務局を運営し、商品の企画・販売・オペレーション・精算業務を行いました。

◆平成 30 年度集客目標：600 名（3 日間）

名 称：東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー

期 間：平成 31 年 3 月 1 日（金）～3 月 3 日（日）の 3 日間

会 場：東大寺総合文化センター 金鐘ホール

講 師：帝塚山大学 文学部 文化創造学科 教授 西山 厚 氏

取扱実績：528 名（3 日間）〔※平成 29 年度実績：692 名（5 日間）〕

8. オフ期のスポーツイベントを活用した宿泊誘致

奈良県観光局観光プロモーション課が主体となり実施しました。

当ビューローは全国高校ラグビーの受け入れのサポートを行いました。

（県内宿泊数 19 校、前年度 19 校）

9. アンテナショップの運営

8 月より、奈良県猿沢インの地階にて、コンビニエンスストア機能を有したアンテナショップの運営を開始しました。県内各地域の特産品を販売するコーナーを設け、情報発信及び県内周遊促進に取り組みました。

10. 支部活動

4 支部（北和、東和、中和、南和）の支部長会議を開催し、活動方針やビジョンの共有を図りました。3 月には、各支部と連携し「旅まつり名古屋」に参画し、県内各地域の特産品の販売及び観光情報の発信に取り組みました。

Ⅳ コンベンション誘致及び支援事業

1. 誘致支援実績

平成 30 年度は、経済効果など質の高い国際会議・医学系会議・スポーツ大会の 3 本柱を中心に誘致・支援活動を展開しました。

特に国際会議においては、目標に対し 109.3%となっています。

参加人員については前年増の 110,086 名（前年度比 115.2%）の結果でした。この要因は、1,000 人以上規模のコンベンションが 16 件から 22 件に増えたことによるものです。

◆目標と実績（単位：件）

	総件数	うち、主要ジャンル別件数		
		国際コンベンション	医学系会議	スポーツ大会
平成 30 年度実績	241	47	53	48
平成 30 年度目標	250	43	51	53
差	-9	+4	+2	-5

◆件数と参加人員

	上期開催計		下期開催計		年計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
平成 30 年度実績	105	46,306	136	63,780	241	110,086
（内国際会議）	(21)	(16,434)	(26)	(13,988)	(47)	(30,422)
平成 29 年度実績	118	43,439	143	52,116	261	95,555
（内国際会議）	(21)	(10,198)	(19)	(4,524)	(40)	(14,722)
対前年度実績比	89%	106.6%	95.1%	122.3%	92.3%	115.2%
（内国際会議）	(100%)	(161%)	(136.8%)	(309%)	(117.5%)	(206.6%)

①平成 30 年度の主な国際会議 （ ）内は海外参加者数

5 月	ワインシュタイン国際心血管発生再生会議 2018	353 名（228 名）
5 月	国際神経発生生物学会第 22 回大会	400 名（200 名）
10 月	2018 年 IEEE 第 7 回民生用電子機器に関する国際会議	450 名（150 名）
11 月	国際水田・水環境工学会（PAWEES）国際会議 INWEPF(国際水田・水環境ネットワーク) との共同開催	335 名（151 名）
3 月	第 6 回アジア神経麻酔集中治療学会	300 名（200 名）

②平成 30 年度の主な医学系会議

10 月	第 15 回国際歯科麻酔学会議	} (※ 3 件合同会議)	1,192 名
	第 11 回アジア歯科麻酔学会議		
	第 46 回日本歯科麻酔学会議		

10月	第33回日本整形外科学会基礎学術集会	1,500名
12月	平成30年度日臨技近畿支部医学検査学会（第58回）	1,797名
1月	第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会	3,083名
1月	第58回近畿理学療法学術大会	1,578名

③平成30年度の主なスポーツ大会

8月	第24回全国金魚すくい選手権大会 奈良県予選・全国大会	3,311名
10月	2018国際ゴールドマスターズ奈良大会	1,439名
11月	飛鳥RUN×2リレーマラソン2018	1,800名

2. 先行受注状況

①令和元年度（平成31年3月29日現在）

	上期開催計		下期開催計		年計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
開催予定	51	30,272	41	14,200	92	44,472
開催検討中	40	13,050	46	24,100	86	37,150
※内開催予定の国際会議 28件						

開催予定の主な国際会議（申請済み案件のみ）（ ）内は海外参加者予定数

5月	化合物半導体週間2019	550名（200名）
5月	The 28th Japanese Society of Wound, Ostomy & Continence Management	1400名（10名）
11月	世界生殖免疫学会（ISIR）日本生殖免疫学会（JSIR）	300名（150名）

②令和2年度（平成31年3月29日現在）

	上期開催計		下期開催計		年計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
開催予定	10	7,005	9	6,600	19	13,605
開催検討中	4	2,100	10	3,750	14	5,850
※内開催予定の国際会議 9件						

開催予定の主な国際会議（申請済み案件のみ）（ ）内は海外参加者予定数

4月	第15回ACIアジア太平洋地域総会	500名（200名）
7月	光物性物理国際会議	200名（50名）
9月	The Ionizing Radiation and Polymers symposium	150名（120名）
10月	第22回世界妊娠高血圧学会（ISSHP2020）	500名（200名）

3. 誘致活動

(1) 県内大学への誘致活動

県内大学については、昨年同期実績比 100.0%で推移。特に奈良先端大学、奈良女子大学については教授陣へのアプローチを強化した結果、昨年実績件数を上回りました。

平成 30 年度県内大学別開催（支援）件数

	県立医大	先端大	奈良女子大	近大 農学部	天理大	合 計
開催（支援）件数	24	9	28	4	10	74
平成 29 年度実績	25	8	24	5	12	74
平成 29 年度実績比	96.0%	112.5%	116.6%	80.0%	83.3%	100.0%

(2) 県外大学への誘致活動

県外大学については、「奈良のユニークベニュー」の企画書を中心に、大阪大学・京都大学等の有望教授に対する誘致活動の接点拡大を図りました。今後は首都圏大学・学会事務局並びに近畿圏の主要大学等への誘致活動を更に強化していきます。

平成 29 年度以降の県外大学別開催（支援）件数（実績及び目標）

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	計
大阪大	2	8	3	1	14
京都大	3	1	2	1	7
その他	6	3	1	3	13

※その他は、大阪府立大、大阪市立大、神戸大など

(3) 国際コンベンションへの誘致活動

県内主要大学及び大阪大学・京都大学・神戸大学等に積極的な誘致活動を行いました。

(4) 大学以外への誘致活動

病院・研究所・財団・協会・委員会等への誘致活動を実施しました。

（例）近畿大学医学部奈良病院、天理よろづ相談所病院、地球環境産業技術研究機構他

(5) MICE 誘致への取り組み

MICE については、企業が行う M（ミーティング）及び I（インセンティブ）の需要について、各大手旅行会社等にヒアリングを実施しており、次年度以降の方針に反映します。

4. 企画提案力及び情報収集・発信力の強化

(1) 平成 30 年度観光庁 MICE 推進室マーケティング機能高度化支援事業に採択され、海外ア

ドバイザー、奈良県、及び主要なステークホルダー等と共に MICE への取り組み方と奈良県 MICE ブランドの構築について検討しました。

(2) 積極的にコンベンション施設等ときめ細かい情報交換を行い、誘致活動に活かしています。

(3) JCCB 部会へ参加、並びに他府県コンベンション推進機関との意見交換を通じて、情報収集及び連携に努めました。

5. 開催支援活動

コンベンション開催に際して必要となる会場看板、地域情報の提供、アトラクション・エクスカーションプログラムの提案、各種助成金交付等により開催支援に取り組みました。

6. 開催支援内容の充実

(1) 企画販売部と連携し、アトラクションの素材開発に努めました。

(太鼓、相撲、利き酒体験等)

(2) ボランティア研修会を平城宮跡歴史公園等で実施することにより、サポート体制の更なる充実に努めました。

7. 人材育成

(1) OJT を通じて国際コンベンション誘致に向けた人材育成を行いました。

(2) JCCB（日本コングレス・コンベンション・ビューロー）及び JNTO（日本政府観光局）等が開催するセミナーに職員の派遣を実施しました。

(3) 主なコンベンション施設の視察を実施しました。

平成30年度収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入	2,601,000	1,907,098	693,902
②会費収入	12,600,000	11,818,000	782,000
③補助金等収入			
奈良県			
ビクターズビューロー活動補助事業	99,368,000	84,982,165	14,385,835
④インバウンド向け旅行商品の販売			
事業収入			
オーダーメイド旅行商品販売収入	32,250,000	15,021,544	17,228,456
ネット販売予約サイト旅行商品収入	10,000,000	12,286,480	△ 2,286,480
奈良県・市町村・民間連携キャンペーン			
奈良県負担金	6,250,000	6,250,000	0
市町村負担金	3,125,000	3,125,000	0
民間企業協力金	3,125,000	3,125,000	0
⑤地域連携DMO推進事業			
奈良県			
商品企画支援	1,800,000	1,800,000	0
奈良県・市町村・民間連携キャンペーン			
奈良県負担金	3,750,000	3,750,000	0
市町村負担金	1,875,000	1,875,000	0
民間企業協力金	1,875,000	1,875,000	0
国庫補助金			
観光庁広域周遊観光促進のための観光地域支援事業	0	29,131,224	△ 29,131,224
文化庁多言語整備補助事業	0	34,719,640	△ 34,719,640
⑥連携事業			
主要交通事業者と連携した国内外向け旅行商品の販売			
奈良県			
うまし奈良めぐり事業受託収入	2,000,000	702,541	1,297,459
奈良県・市町村・民間連携キャンペーン			
奈良県負担金	8,000,000	8,000,000	0
市町村負担金	4,000,000	4,000,000	0
民間企業協力金	4,000,000	4,000,000	0
その他			
着地型旅行商品販売収入	5,000,000	2,724,064	2,275,936
社寺関連企画事業収入	1,500,000	1,992,064	△ 492,064
奈良ファン誘客			
その他			
奈良ファン倶楽部会費収入	5,700,000	5,622,000	78,000
奈良ファン倶楽部事業収入	3,550,000	2,470,852	1,079,148
奈良大和路カレンダー販売収入	12,500,000	11,357,292	1,142,708

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異
あをによしなら旅ネットの運営			
奈良県			
観光情報サイト管理運営事業	4,757,000	4,757,000	0
観光インフォメーションセンターの運営			
奈良県			
奈良県観光インフォメーションセンター運営事業	6,526,000	6,526,000	0
猿沢イン旅行カウンター			
その他			
旅行カウンターサービス	6,000,000	6,003,000	△ 3,000
オフシーズンのスポーツを活用した宿泊推進事業			
奈良県			
オフシーズンのスポーツを活用した宿泊推進事業	1,500,000	1,500,000	0
アンテナショップ運営事業			
その他			
アンテナショップ販売収入	0	39,712,490	△ 39,712,490
⑦コンベンション開催誘致及び支援			
奈良県			
コンベンション開催誘致支援事業	11,548,000	11,095,000	453,000
奈良市			
国際コンベンション開催助成金	5,100,000	5,100,000	0
コンベンション誘致活動	1,994,000	1,994,000	0
コンベンションボランティアの展開	175,000	175,000	0
運営経費	15,495,000	15,495,000	0
その他			
コンベンション関連事業収入	1,000,000	2,621,607	△ 1,621,607
⑧その他			
奈良県			
全国広域観光振興支援事業	1,000,000	1,000,000	0
奈良市			
コンベンション関連団体との連携	1,230,000	1,230,000	0
民間			
商工会議所補助金	556,000	556,000	0
観光情報システム事業補助	50,000	50,000	0
その他民間助成金	0	10,000	△ 10,000
⑨雑収入			
各種印刷物販売収入	100,000	29,000	71,000
受取利息収入等	20,000	55	19,945
その他受託事業収入	0	6,100,000	△ 6,100,000
受益者、事業者分担金	0	5,751,612	△ 5,751,612
その他雑収入	0	199,471	△ 199,471
事業活動収入計	281,920,000	362,440,199	△ 80,520,199

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
インバウンド向け旅行商品の販売			
オーダーメイドサイト管理運営	11,850,000	0	11,850,000
旅行商品・体験プログラム販売予約サイト管理運営	4,600,000	0	4,600,000
商品造成・販売促進コンサルティング	7,500,000	7,500,000	0
営業活動費	5,000,000	3,500,000	1,500,000
旅行商品販売原価	25,800,000	22,306,501	3,493,499
地域連携DMO推進事業			
着地型観光素材の発掘・商品造成・サイト掲載	1,800,000	1,800,000	0
地域関係者との連携プラットフォームづくり	7,500,000	6,000,000	1,500,000
観光庁広域周遊観光促進のための観光地域支援事業	0	58,361,869	△ 58,361,869
文化庁多言語整備補助事業	0	42,768,864	△ 42,768,864
連携事業			
主要交通事業者と連携した国内外向け旅行商品の販売			
「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営	500,000	21,600	478,400
JR東海キャンペーンと連動した販売促進	8,000,000	8,000,000	0
奈良県観光キャンペーンへの参画	5,000,000	5,000,000	0
関西・九州圏の交通事業者と連携した販売促進	6,000,000	6,000,000	0
着地型旅行商品造成事業	4,000,000	2,179,251	1,820,749
社寺関連企画費	1,500,000	1,992,064	△ 492,064
奈良ファン誘客			
奈良ファン倶楽部の運営	9,250,000	8,136,124	1,113,876
奈良大和路カレンダー制作・販売事業	10,000,000	9,968,064	31,936
あをによしなら旅ネットの管理運営	4,757,000	4,757,000	0
奈良県観光インフォメーションセンターの運営事業	7,136,000	6,526,000	610,000
旅行カウンターサービス	6,000,000	274,637	5,725,363
観光功労者表彰	100,000	0	100,000
オフシーズンのスポーツを活用した宿泊推進事業	1,500,000	1,500,000	0
アンテナショップ運営			
仕入原価	0	31,126,185	△ 31,126,185
アンテナショップ管理運営費	0	11,065,022	△ 11,065,022
コンベンション開催誘致及び支援			
コンベンション開催誘致プロモーション支援事業	11,548,000	11,095,000	453,000
国際コンベンション開催誘致事業	10,591,000	10,336,000	255,000
コンベンション関連事業	1,000,000	10,736	989,264
その他			
日本観光振興協会事業への拠出	1,000,000	1,000,000	0
各種行事等への協賛事業	1,200,000	700,000	500,000
コンベンション関連団体との連携及び情報発信	330,000	330,000	0
テーマ別観光情報の収集提供	200,000	200,000	0
観光コンベンションに関する情報収集提供及び人材啓発			
誘致促進・情報発信力強化事業	99,368,000	84,982,165	14,385,835

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異
②管理費支出			
給与手当	18,979,000	18,117,868	861,132
福利厚生費	9,910,000	9,143,369	766,631
会議費	910,000	235,220	674,780
旅費交通費	200,000	7,030	192,970
通信運搬費	250,000	445,282	△ 195,282
消耗品費	300,000	311,540	△ 11,540
修繕費	50,000	441,731	△ 391,731
印刷製本費	80,000	191,926	△ 111,926
燃料費	50,000	78,667	△ 28,667
賃貸料	3,471,000	3,092,015	378,985
諸謝金	100,000	119,600	△ 19,600
租税公課	60,000	568,095	△ 508,095
支払負担金	1,320,000	1,686,000	△ 366,000
委託費	300,000	3,792,840	△ 3,492,840
支払手数料	80,000	127,168	△ 47,168
支払利息	0	12,322	△ 12,322
備品購入費	50,000	0	50,000
雑費	80,000	205,525	△ 125,525
法人税・住民税・事業税等	700,000	185,300	514,700
事業活動支出計	289,920,000	386,198,580	△ 96,278,580
事業活動収支差額	△ 8,000,000	△ 23,758,381	15,758,381
Ⅱ. 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
保証金戻り収入		26,568	△ 26,568
投資活動収入計	0	26,568	△ 26,568
2. 投資活動支出			
保証金支出		1,526,568	△ 1,526,568
投資活動支出計	0	1,526,568	△ 1,526,568
投資活動収支差額	0	△ 1,500,000	1,500,000
Ⅲ. 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
短期借入金		50,000,000	△ 50,000,000
財務活動収入計	0	50,000,000	△ 50,000,000
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	50,000,000	△ 50,000,000
Ⅳ. 予備費	4,000,000	0	4,000,000
当期収支差額	△ 12,000,000	24,741,619	△ 36,741,619
前期繰越収支差額	12,000,000	28,611,073	△ 16,611,073
次期繰越収支差額	0	53,352,692	△ 53,352,692

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、下記の科目を含めている。

なお、前期末及び当期末の残高は、下記2に記載するとおりである。

現金
普通預金
小口現金
当座預金
未収会費
未収金
前払金
仮払金
未払金
前受金
前受会費
預り金
仮受金

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	前期末残高
現金預金		
現金	842,443	56,617
普通預金	65,739,052	74,960,047
郵便貯金	867,500	19,677,368
その他流動資産		
未収金	75,711,715	9,808,527
前払金	322,583	179,520
立替金	424,207	0
貯蔵品	21,090	0
奈良県収入証紙	0	7,620
合計	143,928,590	104,689,699
未払金	85,395,298	68,867,339
前受金	367,600	368,500
前受会費	3,306,000	3,945,000
預り金	0	1,397,787
賞与引当金	1,500,000	1,500,000
仮受金	7,000	
合計	90,575,898	76,078,626
次期繰越収支差額	53,352,692	28,611,073

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差異
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	842,443	56,617	785,826
普通預金	65,739,052	74,960,047	△ 9,220,995
郵便貯金	867,500	19,677,368	△ 18,809,868
現預金合計	67,448,995	94,694,032	△ 27,245,037
(2) その他流動資産			
未収金	75,711,715	9,808,527	65,903,188
前払金	322,583	179,520	143,063
立替金	424,207		424,207
貯蔵品	21,090		21,090
商品	4,522,263		4,522,263
奈良県収入証紙		7,620	△ 7,620
その他流動資産合計	81,001,858	9,995,667	71,006,191
流動資産合計	148,450,853	104,689,699	43,761,154
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
利付国庫債券	200,000,000	200,000,000	0
定期預金	18,500,000	18,500,000	0
基本財産合計	218,500,000	218,500,000	0
(2) その他固定資産			
保証金	3,700,000	2,200,000	1,500,000
その他固定資産合計	3,700,000	2,200,000	1,500,000
固定資産合計	222,200,000	220,700,000	1,500,000
資産合計	370,650,853	325,389,699	45,261,154
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	85,395,298	68,867,339	16,527,959
前受金	367,600	368,500	△ 900
前受会費	3,306,000	3,945,000	△ 639,000
預り金	0	1,397,787	△ 1,397,787
短期借入金	50,000,000		50,000,000
賞与引当金	1,500,000	1,500,000	0
仮受金	7,000		7,000
流動負債合計	140,575,898	76,078,626	64,497,272
負債合計	140,575,898	76,078,626	64,497,272
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	218,500,000	218,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	218,500,000	218,500,000	0
2. 一般正味財産	11,574,955	30,811,073	△ 19,236,118
正味財産合計	230,074,955	249,311,073	△ 19,236,118
負債及び正味財産合計	370,650,853	325,389,699	45,261,154

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	1,907,098	2,711,583	△ 804,485
会費	11,818,000	11,508,000	310,000
国庫補助金			
観光庁広域周遊補助事業	29,131,224	0	29,131,224
文化庁多言語整備補助事業	34,719,640	0	34,719,640
奈良県補助金			
ビクターズビューロー活動補助事業	84,982,165	64,650,425	20,331,740
商品企画支援事業	1,800,000	1,800,000	0
コンベンション開催誘致支援事業	11,095,000	11,048,000	47,000
全国広域観光振興支援事業	1,000,000	1,000,000	0
オフシーズンのスポーツを活用した宿泊推進事業	1,500,000	1,200,000	300,000
奈良県観光情報サイト管理運営事業	4,757,000	5,257,000	△ 500,000
奈良県観光インフォメーションセンター運営事業	6,526,000	6,526,000	0
奈良市負担金			
国際コンベンション開催助成	5,100,000	6,100,000	△ 1,000,000
コンベンション誘致活動	1,994,000	1,994,000	0
コンベンション関連団体との連携	1,230,000	1,330,000	△ 100,000
コンベンションボランティアの展開	175,000	175,000	0
運営事業補助	15,495,000	14,735,000	760,000
負担金等収益			
奈良県負担金	18,000,000	18,000,000	0
市町村負担金	9,000,000	9,000,000	0
民間企業協力金	9,000,000	9,000,000	0
民間補助金			
観光情報システム補助金	50,000	50,000	0
商工会議所補助金	556,000	556,000	0
受取民間助成金	10,000	0	10,000
事業収益			
奈良大和路カレンダー販売収入	11,684,490	12,025,500	△ 341,010
インバウンド旅行商品販売収入	15,021,544	0	15,021,544
体験プログラム販売収入	12,286,480	0	12,286,480
奈良ファン倶楽部会費及び事業収入	8,623,300	8,637,400	△ 14,100
コンベンション関連事業収入	2,621,607	0	2,621,607
各種印刷物販売収入	29,000	105,750	△ 76,750
アンテナショップ収入	39,712,490	0	39,712,490
その他事業収入	533,021	0	533,021
着地型旅行商品販売収入	4,716,128	16,341,301	△ 11,625,173
大和路歴史文化東京講座参加費	0	489,000	△ 489,000
事業受託			
旅行カウンターサービス	6,003,000	6,664,680	△ 661,680
その他事業受託	6,100,000	0	6,100,000
事業者・受益者分担金	5,751,612	0	5,751,612
雑収益			
受託販売手数料	702,541	2,297,157	△ 1,594,616
受取利息収入等	55	18	37
その他雑収益	672,502	0	672,502
他会計からの繰入金	0	500,000	△ 500,000
経常収益計	364,303,897	213,701,814	150,602,083

科 目	当年度	前年度	増 減
(2)経常費用			
①事業費			
国庫補助事業			
観光庁広域周遊補助事業	58,361,869	0	58,361,869
文化庁多言語整備補助事業	42,768,864	0	42,768,864
奈良県補助金事業			
ビクターズビューロー活動補助事業	84,982,165	64,650,425	20,331,740
商品企画支援事業	1,800,000	1,825,623	△ 25,623
コンベンション開催誘致支援事業	11,095,000	11,478,308	△ 383,308
全国広域観光振興支援事業	1,000,000	1,000,000	0
オフシーズンのスポーツを活用した宿泊推進事業	1,500,000	1,201,934	298,066
奈良県観光情報サイト管理運営事業	4,757,000	5,273,535	△ 516,535
奈良県観光インフォメーションセンター運営事業	6,526,000	7,110,398	△ 584,398
奈良市負担金事業			
国際コンベンション開催誘致	7,094,000	3,731,642	3,362,358
コンベンション関連団体との連携	330,000	55,739	274,261
コンベンションボランティアの展開	175,000	137,797	37,203
負担金事業および自主事業			
奈良県キャンペーン連携事業	5,000,000	9,512,951	△ 4,512,951
JR東海キャンペーンとの連携	8,000,000	0	8,000,000
関西・九州交通事業者連携	6,000,000	0	6,000,000
宣伝物制作・配布・掲出等		8,076,805	△ 8,076,805
パブリシティ制作		1,700,972	△ 1,700,972
営業活動費	3,500,000	0	3,500,000
プロモーション活動費		4,965,517	△ 4,965,517
商品造成販売コンサルティング	7,500,000	0	
インバウンド誘致促進事業		10,920,933	△ 10,920,933
地域プラットフォーム構築	6,000,000	0	
コンベンションWEBサイト改修	3,067,416		
テーマ別観光情報の収集	200,000	155,868	44,132
各種行事への協賛	700,000	1,187,128	△ 487,128
観光功労者表彰	0	135,708	△ 135,708
日本観光振興協会観光展出展事業	0	138,902	△ 138,902
支部活動事業	0	1,002,484	△ 1,002,484
会報誌の発行	0	442,751	△ 442,751
会員の集い開催	0	330,232	△ 330,232
団体旅行誘致促進事業	0	1,096,398	△ 1,096,398
観光キャンペーン特別事業への操出金	2,000,000	500,000	1,500,000
収益事業			
インバウンド旅行商品販売事業	11,830,348	0	11,830,348
体験プログラム販売事業	10,476,153	0	10,476,153
着地型旅行商品販売事業	4,171,315	20,613,944	△ 16,442,629
コンベンション関連事業	10,736	0	10,736
奈良ファン倶楽部事業	8,136,124	7,119,330	1,016,794
奈良大和路カレンダー販売事業	9,968,064	9,611,416	356,648
アンテナショップ運営事業	37,668,944	0	37,668,944
大和路歴史文化東京講座開催事業	0	1,183,452	△ 1,183,452
その他事業支出	159,519	0	159,519
事業費計	344,778,517	175,160,192	169,618,325

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費			
給与手当	18,117,868	18,195,980	△ 78,112
福利厚生費	9,143,369	7,657,743	1,485,626
会議費	235,220	0	235,220
旅費交通費	7,030	51,970	△ 44,940
通信運搬費	445,282	9,692	435,590
消耗品費	311,540	288,919	22,621
修繕費	441,731	0	441,731
印刷製本費	191,926	49,896	142,030
燃料費	78,667	11,410	67,257
支払賃貸料	3,092,015	2,571,919	520,096
諸謝金	119,600	81,000	38,600
租税公課	568,095	33,250	534,845
負担金支出	1,686,000	1,234,500	451,500
委託料	3,792,840	2,720,458	1,072,382
支払手数料	127,168	64,868	62,300
支払利息	12,322	0	12,322
雑費	205,525	53,841	151,684
事務費	0	116,806	△ 116,806
法人税・住民税・事業税等	185,300	1,313,700	△ 1,128,400
管理費合計	38,761,498	34,455,952	4,305,546
経常費用計	383,540,015	209,616,144	173,923,871
当期経常増減額	△ 19,236,118	4,085,670	△ 23,321,788
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 19,236,118	4,085,670	△ 23,321,788
一般正味財産期首残高	30,811,073	26,725,403	4,085,670
一般正味財産期末残高	11,574,955	30,811,073	△ 19,236,118
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	218,500,000	218,500,000	0
指定正味財産期末残高	218,500,000	218,500,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	230,074,955	249,311,073	△ 19,236,118

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

購入時の取得価格。なお、取得価格と債権金額との差額については、重要性が乏しい場合は、債権金額。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(4) 引当金の計上基準

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に属する金額を計上。

(5) 消費税等の会計処理

税込

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
利付国庫債券	200,000,000	0	0	200,000,000
定期預金	18,500,000	0	0	18,500,000
小計	218,500,000	0	0	218,500,000
合計	218,500,000	0	0	218,500,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当)	(うち一般正味 財産からの充 当)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
利付国庫債券	200,000,000	200,000,000	0	0
定期預金	18,500,000	18,500,000	0	0
小計	218,500,000	218,500,000	0	0
合計	218,500,000	218,500,000	0	0

5. 担保に供している資産

担保物件なし

6. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

保証債務なし

7. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額

利付国庫債券 第305回(10年)

100,000,000 円

利付国庫債券 第121回(20年)

100,000,000 円

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区
奈良県ビジターズビューロー 人件費補助事業	奈良県	0	89,510,000	84,982,165	4,527,835	未払金
商品企画支援事業	奈良県	0	1,800,000	1,800,000	0	
コンベンション開催誘致支援 事業	奈良県	0	11,548,000	11,095,000	453,000	未払金
全国広域観光振興支援事業	奈良県	0	1,000,000	1,000,000	0	
オフシーズンのスポーツを活 用した宿泊推進事業	奈良県	0	1,500,000	1,500,000	0	
奈良県観光情報サイト管理 運営事業	奈良県	0	4,757,000	4,757,000	0	
奈良県観光インフォメーショ ンセンター運営事業	奈良県	0	6,526,000	6,526,000	0	

財産目録

平成31年3月31日現在

科 目	当年度
I. 資産の部	
1. 流動資産	
(1) 現金預金	
現金	842,443
普通預金	65,739,052
郵便貯金	867,500
現預金合計	67,448,995
(2) その他流動資産	
未収金	75,711,715
前払金	322,583
立替金	424,207
貯蔵品	21,090
商品	4,522,263
奈良県収入証紙	
その他流動資産合計	81,001,858
流動資産合計	148,450,853
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
利付国庫債券	200,000,000
定期預金	18,500,000
基本財産合計	218,500,000
(2) その他固定資産	
保証金	3,700,000
その他固定資産合計	3,700,000
固定資産合計	222,200,000
資産合計	370,650,853
II. 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	85,395,298
前受金	367,600
前受会費	3,306,000
預り金	0
短期借入金	50,000,000
賞与引当金	1,500,000
仮受金	7,000
流動負債合計	140,575,898
負債合計	140,575,898
正味財産	230,074,955

監 査 報 告 書

平成30年度一般財団法人奈良県ビジターズビューローの監査をした結果、

事業報告書・収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録について

全て公正妥当であり、いずれも適正に処理されていたことを認めます。

令和元年5月27日

監 事

上田 博 文 

監 事

春日 英 達 

奈良県ビジターズビューロー役員名簿

平成31年3月28日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
理事長	荒井 正吾	奈良県	奈良県知事
副理事長	仲川 げん	奈良市	奈良市長
副理事長	植野 康夫	奈良商工会議所	会頭
専務理事	中西 康博	奈良県ビジターズビューロー	専務理事
理事	橋村 公英	東大寺	執事長
理事	伊勢 久夫	春日大社	権宮司
理事	五十嵐 賢仁	長谷寺	寺務長
理事	五條 永教	金峯山寺	執行長
理事	乾 昌弘	株式会社明新社	代表取締役社長
理事	朝廣 佳子	株式会社読売奈良ライフ	代表取締役社長
理事	佐野 純子	奈良インターカルチャー	
理事	裏 宗久	大和まちづくりネットワーク	会長
理事	上段 貴司	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部営業課	観光推進室長
理事	柴田 裕子	近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部	企画統括部 観光・宣伝部長
理事	植田 良壽	奈良交通株式会社	代表取締役社長
理事	桑川 浩二	東海旅客鉄道株式会社 広報部 東京広報室	室長
理事	箸尾 享嗣	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	理事長
理事	下谷 幸司	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	
理事	山本 義史	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	
理事	近浪 弘武	日本コンベンションサービス株式会社	代表取締役社長
理事	唐津 洋平	株式会社ジェイティービー 奈良支店	支店長
理事	高垣 一生	株式会社近畿日本ツーリスト関西 奈良支店	支店長
理事	森下 豊	橿原市	橿原市長
理事	北岡 篤	吉野町	吉野町長
理事	今仲 進	奈良県ビジターズビューロー	事務局長
監事	森田 康文	奈良県	会計管理者
監事	横谷 和也	株式会社南都銀行	執行役員 公務・地域活力創造部長

奈良県ビジターズビューロー評議員名簿

平成31年3月28日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
評議員	川俣 海淳	奈良大和四寺巡礼の会	代表
評議員	常盤 勝範	壺阪寺	住職
評議員	森 正光	石上神宮	宮司
評議員	甘利 治夫	株式会社奈良新聞	代表取締役
評議員	湯木 和則	NHK奈良放送局	局長
評議員	長岡 雅美	奈良テレビ放送株式会社	取締役社長
評議員	坂田 智哉	一般社団法人 奈良青年会議所	理事長
評議員	田中 稔之	奈良県農業協同組合	代表理事、理事長
評議員	菅谷 文則	奈良県立橿原考古学研究所	所長
評議員	折原 英人	奈良県	観光局長
評議員	梅森 義弘	奈良市	観光経済部長
評議員	山崎 貴浩	橿原市	魅力創造部長
評議員	宮本 憲一	吉野町	参事